

♪ みんなにこにこ！笑顔につながる おてつだい♪  
チームみねっぴ～の とくべつしえんだより



～ こんなお子さんは いませんか？ 間違うことに強い拒否感や不安感を抱えやすい子への支援 ～

青葉がゆらゆらと風に揺れ、雨に映える紫陽花が美しい季節となりました。

日頃より、子どもたちが学校生活を落ち着いて過ごせますように、各ご家庭でのご配慮やご協力をありがとうございます。

さて、今回は、「間違いや失敗に強い拒否感や不安感を抱えやすいお子さん」について、話題にさせていただきたいと思います。

人は誰でも間違ったり失敗したりするものですが、お子さんによっては、失敗や間違いに気づき、どうすればよいか分からず困惑したり、成功体験の少なさなどから、強い拒否感や不安感を抱え攻撃的な態度や自分の心を閉ざしてしまったりすることがあります。

お子さんが持っている力を十分に発揮し、生き生きと生活していけますよう「失敗や間違ったときの対処術」について、ご参考までに、いくつかの例をご紹介しますと思います。

お子さんがスキルを身に付けていく上で大切なことは、「失敗しても応援してくれる人がいる」「失敗しても工夫してやり直しができる」「できた喜びを一緒に喜んでもらった経験」など、安心感のある「ヒト・モノ・コト」との関わりを通した小さな成功体験が必要となります。

この子は「もしかして、困っているのかもしれない。」「まだ、知らないのかもしれない。」という「子ども目線」を大切に、ぜひ、お子さんの成長を応援していきたいものですね。

【「こんなときは〇〇しよう。」と具体的な方法を話題にしながら…】

お子さんによっては、具体的にどうすればよいか、まだ分かっていないことがあります。

「ちゃんと考えなさい!」と言われても、「どうすればよいか分からないで困り、不適切な行動で表現してしまう場合があります。

望ましい対処法を「①…②…」など具体的に示しながらお子さんに選ばせて、行動しようとしていたら大いに喜び合しましょう。

【「こまったこと」を安心して相談できる経験を通し「相談するよさ」を実感しながら…】

「こまっている」という概念形成ができていくか把握しましょう。「こまったときには、相談できる!」という安心感が「相談するよさ」を実感できることにつながります。

【どうすればよいか、イメージがもてるよう「経験」と「言葉」を結び付けながら…】

「言葉」で伝えるだけでは、理解することが難しいことがあります。「経験」に「言葉」を添えながら、「経験しながら学ぶ」「経験したことのよさを価値づける」「経験と経験を関連付けながら応用できるようにする」など、「経験」と「言葉」を結び付け理解を促しましょう。



【安心言葉や存在 & 安心アイテムを活用しながら…】

心を落ち着けて乗り越えられるよう、自分が安心できる言葉や存在、アイテムなどを日頃から見つけておき、必要なときには、そのつながりに助けてもらいましょう。